

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	3	課コード	0201	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	---	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)													
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	都市間交流の推進		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	企画財政部・企画課				
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市							
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	2人 (換算人数)		0.02人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	176千円 (うち人件費 176千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	84002	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)			
(2) 目的	施策目的・展開方向	手賀沼の浄化、ごみ処理、消防、医療、防災、観光振興、公共交通の利便性向上などの広域的な課題に対応するため、近隣自治体や関係機関、周辺住民との連携を強化します。また、東葛中部地区総合開発事務組合が運営しているウイングホール柏斎場の効率的な運営を促進します。また、平成26年4月から指定管理者都市間交流について、市としての基本方針を策定する。策定後は、基本方針に沿って、広域連携で行っている事業を検証していく。			事業目的	共通課題を有する都市との課題に対応し、市民サービスの向上と効率的・効果的な行政運営を進める。							
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	2019.4～2019.12 広域連携に関し、庁内の取り組み状況を調査する。							
					当該年度活動結果指標	広域連携に関する取り組み状況調査の実施	単位	回	想定値	1			
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値			
当該年度	次期総合計画の開始年度(2022年度)に合わせてスタートできるよう、都市間交流に関する基本方針を策定する。				直接	基本方針策定の進捗率		%	0	20			
令和2年度	次期総合計画の開始年度に合わせてスタートできるよう、都市間交流に関する基本方針を策定する。				直接	基本方針策定の進捗率		%		60			
令和3年度	次期総合計画の開始年度に合わせてスタートできるよう、都市間交流に関する基本方針を策定する。				-	基本方針策定の進捗率				100			
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無							
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度					
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)			
			基本方針の策定	0		庁内調査の実施	0		調査結果の検証と方針骨子の検討	0		基本方針の策定	0
		予算(決算)額	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0			
		補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0			
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0			
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0			
	一般財源		0	0		0	0		0	0			
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.02		0.02		0.02		0.02					
	正職員人件費	176		176		176		176					
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0					
	臨時職員賃金額	0		0		0		0					
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	176		176		176		176					
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	1.76千円/%		176千円/回		176								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	市民サービスの向上や効率的・効果的な行政運営を進めるため、共通の課題を持つ都市と連携し課題を解決していくことが必要である。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった				○要 ●不要
	<その他の内容>				<想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 全国的に人口減少、少子高齢化の傾向は強まっている。各自治体財源が限られている中、市民ニーズは多様化しており、1市だけで解決できない課題への対応として広域連携は必要である。				
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他				■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他				○要 ●不要
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他				<その他の内容>				
参加・協働の工夫	参加・協働の内容				実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				○要 ●不要
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり) ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他				市民活動の支援は、各市が各々支援していることから、今後も都市間交流(市民活動)の支援について検討する必要がある。				
環境への配慮	配慮の視点				実施した具体的な内容				○要 ●不要
	取組む内容				環境への配慮				
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		○①目標値達成 ●②目標値未達成	
	0	20	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	50		<目標を達成した理由/未達成となった原因> 調査のとりまとめをしたが、事業の方向性まで示せなかった。	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	176		事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	11.36	10万円	○①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ●②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	5.68		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 全庁に広域的な連携事業の実施について調査を実施した。	

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					
	各課において広域的な連携事業の実施について調査した結果、各々の課で他市と連携して実施している事業が多ことから、今後も他市との連携事業を継続しながら推進していく。									

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (4), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget breakdown for fiscal years 30, 31, and 32.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Contains criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a comment about continuing support for the international exchange association and a direction for improvement.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (7), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 現状, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a comment about future collaboration with the international exchange association.

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (8), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, (8) 施行事項 (費用), (9) 財源内訳, (10) 人件費等, (11) 単位費用.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 事業が今必要である理由・背景は?, (2) 市が実施する必要性はあるか?, (3) 参加・協働の工夫, (4) 環境への配慮, (5) 目標設定は適切か?, (6) 効率性, (7) 目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他 (事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (9), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価, 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 現状, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (11), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget and personnel data.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a comment on the 2019 fiscal year revision and future plans.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (12), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (□政策 □經常 ■なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 評価, 評価コメント, 改善案及び展開方向.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (13), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (□政策 □経常 ■なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ, ②目的, ③事業内容, ④達成目標, ⑦事業実施上の課題と対応.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for 必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, 目標設定, 効率性.

3. 事後評価

Summary table for 事後評価 with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (14), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget breakdown table.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, citizen participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for post-evaluation with columns: 現状, 評価コメント, 改善案及び展開方向.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (15), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a status legend and evaluation comments.

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (16), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 (費用).

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 事業が今必要である理由, (2) 市が実施する必要性, (3) 参加・協働の工夫, (4) 環境への配慮, (5) 目標設定は適切か?, (6) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (21), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for fiscal years 30, 31, and 32.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes criteria for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性, and (6) 事後評価.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns for 評価, 現状と対応, and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (24), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (25), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for status and a text box for comments.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	27	課コード	0201	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	JOBANアートライン協議会		実施計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		②部課名	企画財政部・企画課	
	③事業主体	<input type="radio"/> 市 <input checked="" type="radio"/> その他（常磐線沿線自治体等10団体）			④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input type="checkbox"/> 全市				
	⑤事業期間	平成18年度～			⑥担当職員数	4人（換算人数） 0.19人				
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0千円		当該（開始）年度	（当初）	2,072千円（うち人件費 1,672千円）		（変更後）	千円（うち人件費 千円）
	⑧施策の位置づけ	施策コード	84002	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		部門別計画への位置づけ	（計画名）
(2) 目的	施策目的・展開方向	手賀沼の浄化、ごみ処理、消防、医療、防災、観光振興、公共交通の利便性向上などの広域的な課題に対応するため、近隣自治体や関係機関、周辺住民との連携を強化します。また、東葛中部地区総合開発事務組合が運営しているウイングホール柏斎場の効率的な運営を促進します。また、平成26年4月から指定管理者台東区、荒川区、足立区、葛飾区、松戸市、柏市、我孫子市、取手市、東京芸術大学、東日本旅客鉄道株式会社等の10団体で協議会を構成する本協議会で次の事業を行う。 ①JR常磐線沿線地域の活性化についての調査・研究 ②JR常磐線沿線地域の活性化を図るイベント等の普及・啓発 ③資料の収集及び情報交換の実施 ④目的達成のために必要な協議			事業目的	アートを基調として、常磐線沿線のイメージアップと沿線自治体の活性化などを図る。				
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	台東区、荒川区、足立区、葛飾区、松戸市、柏市、我孫子市、取手市、東京芸術大学、JR東日本東京支社の10団体で構成する協議会で、JR常磐線沿線地域の活性化に向けて次の事業を行う。 ・沿線活性化にむけ全構成団体が連携して行う共同事業（スタンプラリー等）の開催				
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）				当該年度活動結果指標	我孫子市内でのイベント等の開催回数	単位	回	想定値	1
(5) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）				当該年度活動結果指標	我孫子市内でのイベント等の開催回数	単位	回	実績値	2
(6) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）				当該年度活動結果指標	我孫子市内でのイベント等の開催回数	単位	回	実績値	2
(7) 事業実施上の課題と対応	常磐線沿線のイメージアップを図るため、JR東日本や東京芸術大学、沿線自治体と連携を密にし事業を展開していく必要がある。				代替案検討	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無				
(8) 施行事項	平成30年度		平成31年度				令和2年度		令和3年度	
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		負担金	50		負担金	50		負担金	50	
		特別負担金	350		特別負担金	350		特別負担金	350	
	予算(決算)額	合計	400	予算(決算)額	合計	400	予算(決算)額	合計	400	
	国庫支出金	補助率 0%	0	国庫支出金	補助率 0%	0	国庫支出金	補助率 0%	0	
	県支出金	補助率 0%	0	県支出金	補助率 0%	0	県支出金	補助率 0%	0	
	起債	充当率 0%	0	起債	充当率 0%	0	起債	充当率 0%	0	
	一般財源		400	一般財源		400	一般財源		400	
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	
(9) 財源内訳	換算人数(人)	0.28	換算人数(人)	0.19	換算人数(人)	0.2	換算人数(人)	0.2		
(10) 人件費等	正職員人件費	2,464	正職員人件費	1,672	正職員人件費	1,760	正職員人件費	1,760		
	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0		
	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0		
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	2,864	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	2,072	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	2,160	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	1,810		
(11) 単位費用	2,864千円/回		2,072千円/回		2,160千円/回		1,810千円/回			

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討
	つくばエクスプレスが開通したことなどにより、常磐線利用者が減少していることから、JR東日本と沿線自治体が連携して、さまざまな事業を展開することで、常磐線沿線のイメージアップを図る必要がある。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 常磐線沿線のイメージアップを図るため、JR東日本や東京芸術大学、常磐線沿線の自治体と連携していく必要性に変わりはなしたため。				○要 ●不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input checked="" type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他				●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> その他				○要 ●不要
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他				○②市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> その他				○要 ●不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容				実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）				改善検討
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他				市内で開催しているイベント（JBFやカッパまつり）においてイベントブースを設けることで、協議会のPRを図ることができた。				○要 ●不要
環境への配慮	配慮の視点				実施した具体的な内容				改善検討
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他				該当なし。				○要 ●不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(件)		目標値(b)(件)		目標値の妥当性のチェック		達成状況		改善検討
	2		1		□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である		実績値(f)(件) 2 達成率(%) 200		○要 ●不要
									○要 ●不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		改善検討
	2,072		792		2,072		●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ●不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		目標値以上となった理由/目標値以下であった原因		改善検討
	0.05		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h) 0.1 対目標値(%) 200		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 実施したイベント（アートアンブレラ）が好評だったため、再度の出展依頼を頂いた。		○要 ●不要

3. 事後評価									
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価コメント	改善策及び展開方向
JBFやカッパまつりなどのイベントを実施している中で、毎年参加いただいている方や、協議会の名前を知っている方が増加していることなど、協議会の認知度が上がっている事が伺える。本協議会は常磐線のイメージアップと沿線自治体の活性化を進めていくうえで必要な事業であることから、現状どおり推進していく。	

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (1447), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including ①事業名, ②目的, ③事業内容, ④達成目標, ⑤事業実施上の課題と対応, ⑥財務内訳, ⑦人件費等

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for 必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, 目標設定, 効率性.

3. 事後評価

Summary table for 事後評価 with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1539), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for the project.

Final summary table with columns: 評価, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (1840), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget and personnel data.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1978), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and a detailed budget breakdown table.

3. 事後評価 - Post-evaluation section including implementation status and improvement directions.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	1981	課コード	0201	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策	■経常	□なし		
1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	近隣市等とのまちづくり連絡協議会	実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	企画財政部・企画課			
	③事業主体	○市 ●その他（我孫子市・柏市・流山市・取手市・利根町）		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	5人（換算人数）		0.33人				
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0千円	当該（開始）年度	（当初）	3,052千円	（うち人件費）	2,904千円			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	84001	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無			
(2) 目的	施策目的・展開方向	市民サービスの向上を図るため、柏市、流山市と行っている住民票などの共同発行を引き続き推進するとともに、公共施設等総合管理計画における広域連携の考え方を踏まえながら、柏市や流山市、取手市、利根町と一部施設で行っている公共施設の相互利用を拡大します。			事業目的	各市との共通課題、広域的な課題に対し、市民サービスの向上との効率的・効果的な行政運営を図るため、近隣自治体間での公共施設相互利用を推進する。					
(3) 事業内容	内容	柏市、取手市、印西市、利根町との各協議会において、まちづくりに関する情報交換、調査・研究、国県の諸計画に関する調整等を行う。 また、市民サービスの向上に向けて、近隣自治体間で公共施設の相互利用について引き続き推進する。 現在実施している公共施設の相互利用 ①柏市、流山市との住民票などの共同発行事業 ②取手市との体育施設・図書館施設の相互利用 ③利根町との図書館施設の相互利用			当該年度執行計画	●全協議会において、事務局会議、幹事会、総会を開催。 ・取手市及び利根町は、意見交換会を年1回開催。 ●公共施設相互利用 ・我孫子市、柏市、流山市による住民票の共同発行 ・取手市グリーンスポーツセンター、藤代スポーツセンター、我孫子市民体育館等の体育施設相互利用（両市内在住・在勤・在学者）					
		当該年度活動結果指標	相互利用している公共施設の数	単位	件	想定値	10	実績値	10		
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該年度	利用できる公共施設の数が増やし、市民の利便性を高める。			直接	新たに利用できる公共施設の数		件	0	1		
令和2年度	利用できる公共施設の数が増え、市民の利便性が高まっている。			直接	新たに利用できる公共施設の数		件		1		
令和3年度	利用できる公共施設の数が増え、市民の利便性が高まっている。			直接	新たに利用できる公共施設の数		件		1		
(7) 事業実施上の課題と対応	近隣自治体との連携を密にし、協議・調整を図りながら進めていく。			代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		公共施設相互利用の実施 各市との協議会、意見交換会等実施 * 柏版図柄入りナンバープレート 導入事業負担金 * 柏版図柄入りナンバープレート協議会負担金	201	74	公共施設相互利用の実施 各市町との協議会、意見交換会等実施 ■柏版図柄入りナンバープレート事業 協議会負担金 市内公用車用「パ」プレート交付手数料 7,400円×10台	0	0	74	公共施設相互利用の実施 各市町との協議会、意見交換会等実施 ■柏版図柄入りナンバープレート事業 協議会負担金	0	74
		予算(決算)額	合計	275	合計	148	74	合計	74	合計	74
		国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%		
県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0		
一般財源		275		148	74		74		74		
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.48		0.33	0.33		0.48		0.48		
正職員人件費		4,224		2,904	2,904		4,224		4,224		
嘱託職員報酬額		0		0	0		0		0		
臨時職員賃金額		0		0	0		0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		4,499		3,052	2,978		4,298		4,298		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		449.9千円/件		305.2千円/件	297.8						
2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
評価項目	事前評価				事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討		
(1) 事業が今必要である理由・背景は？（事業の必要性）	公共施設の老朽化に伴う更新費用は、大きな財政負担となる。厳しい財政状況の中で効率的・効果的な行政運営を進めるため、近隣自治体と連携し公共施設の相互利用を実施していく必要がある。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった				○要 ●不要		
	(2) 市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない（理由） □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<その他の内容>		○要 ●不要	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要		
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他		<その他の内容> 公共施設の相互利用に関する協議は、自治体間で行うべきものである。				○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>				
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要		
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他		<その他の内容> 該当なし		該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>				
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(件)	目標値(b)(件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)	○①目標値達成 ●②目標値未達成		○要 ●不要		
	0	1	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である		実績値(f)(件)	(f/b)×100	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 新たに相互利用を開始した公共施設はないため。				
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過				
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%)	●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった		○要 ●不要		
	3,052	1,447	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他		2,978	97.58	<想定どおり削減できなかった原因>				
事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>							
32.16											
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ●③目標値以下		○要 ●不要		
	0.03	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%)	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 新たに相互利用を開始した公共施設はないため。				
		件	10万円			0	0				
3. 事後評価											
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)											
評価	評価コメント				改善策及び展開方向						
	広域連携事業を現状どおり推進する。										

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (2022), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a row for overall status and comments.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	2052	課コード	0201	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	成田空港活用協議会への参画		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	企画財政部・企画課	
	③事業主体	○市 ●その他（県内146団体が組織する成田空港活用協議会）			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市				
	⑤事業期間	平成25年度～			⑥担当職員数	2人（換算人数）		0.02人		
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0千円		当該（開始）年度	（当初）	226千円（うち人件費 176千円）			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	63401	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ（計画名）	
(2) 目的	施策目的・展開方向	市民が快適に通勤・通学や日常生活に必要な移動ができるよう、重要な公共交通機関であるJR成田線の増発やJR常磐線の特別快速の我孫子駅停車、快速電車の削減ダイヤの復元、東京駅乗り入れ枠の拡大と東海道線との相互直通運転などをJR東日本に働きかけ、鉄道の輸送力の強化と利便性の向上を図ります。			事業目的	成田空港を活用して千葉県経済を活性化するために官民が連携して設立された「成田空港活用協議会」を通して、成田線沿線の観光振興策の促進や重要な公共交通機関であるJR成田線の増発などの利便性向上を図る。				
(3) 事業内容	内容	空港利用者の利便性向上やLCCの利用促進、観光振興、交通アクセスの充実などの戦略を実現していくため千葉県、成田市及び県内企業等が発起人となり平成25年7月に成田空港活用協議会を設立した。我孫子市もこの協議会に参画し、鉄道の充実について、成田線の重要性を協議会の中で検討していただき、沿線の活性化につなげていく。また、成田空港の発着回数の増加などに合わせた、成田線の増発などの輸送力の増強については、引き続き千葉県や沿線自治体と連携しながらJR東日本に働きかけていく。			当該年度執行計画	随時：協議会担当者会議、協議会イベントへの参画 5月：総会、セミナーへの参加				
		当該年度活動結果指標	会議等への参加回数	単位	回	想定値	3	実績値	2	
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値
当該年度	成田線沿線の活性化につながる事業の提案を行う。				直接	事業の提案数		案	1	1
令和2年度	成田線沿線の活性化につながる事業が展開されている。				直接	活性化につながる事業の進捗率		%		100
令和3年度	成田線沿線の活性化につながる事業が展開されている。				直接	活性化につながる事業の進捗率		%		100
(7) 事業実施上の課題と対応	成田空港活用協議会の活動は、圏央道や国内線・国外線の活用を促進する取組みが主となっている。協議会が行うPRイベントの際に成田線に関するPRも行うよう協議会事務局に働きかけているが、その効果測定は難しい。				代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			成田空港活用協議会負担金	50		成田空港活用協議会負担金	50		成田空港活用協議会負担金	50
		予算(決算)額	合計	50	合計	50	合計	50	合計	50
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0
	一般財源		50		50		50		50	
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.11		0.02		0.03		0.03		
	正職員人件費	968		176		264		264		
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	1,018		226		226		314		
(11) 単位費用（事業費/活動結果指標）	339.33千円/回		75.33千円/回		113					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討
	成田空港の年間発着容量30万回化に向けた施設整備などによる発着回数の増加と2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたインパウンドの拡大に伴い、人口集積地域である千葉県北西部からの旅客需要も大きく増加することが見込まれており、この機を捉えて成田線の増発などの輸送力強化に取り組んでいく必要がある。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> インパウンドによる成田空港の利用増の動きを踏まえて、アクセス路線としての成田線（我孫子～成田間）をPRしていく必要がある。				○要 ●不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ■④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 成田線活性化推進協議会に当市から提案することで、同協議会のイベントにおいて、成田線のPRを実施できた。		○要 ●不要
	●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		<その他の内容>		<その他の内容>		
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）		参加・協働の程度・内容		改善検討
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他				該当なし。		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ●不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		改善検討
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他				該当なし。		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ●不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(案)	目標値(b)(案)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		改善検討
	1	1	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である		実績値(f)(案)	達成率(%) (f/b)×100	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 成田線活性化推進協議会に当市から提案することで、同協議会のイベントにおいて、成田線のPRを実施できた。		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		改善検討
事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 ■⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>			
77.8		<削減の内容> 実際の事務に係る仕事量を検証し、事務事業にかかる人工を見直す		<超過理由等>					
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		改善検討
	0.44	単位 費用単位 案	10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価									
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	空港のアクセス路線である成田線（我孫子～成田間）のPRを進めるため、成田線活性化推進協議会と連携しながら、本事業を現状どおり推進していく。	改善策及び展開方向
----	---	-----------

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (2136), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	2169	課コード	0201	会計種別	一般会計	予算の種類	政策	経常	なし
-------	------	------	------	------	------	-------	----	----	----

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組		実施計画への位置づけ	●有 ○無	②部課名	企画財政部・企画課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐	■全市					
	⑤事業期間	平成31年度 ~ 令和2年度		⑥担当職員数	3人 (換算人数)	0.19人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	2,104千円 (うち人件費 1,672千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	43101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ○無	部門別計画への位置づけ	(計画名)		
(2) 目的	施策目的・展開方向	市民や子どもたちの国際性を育むため、国際性豊かなイベントや地域での体験イベント、国際交流団体などが実施する講座、展示会などにより、外国の文化や習慣など、国際理解を深めるための情報を提供します。			事業目的	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、事前キャンプ誘致をはじめとした外国人の受け入れ環境の整備を行い、大会期間中に来市する国内外からの大会関係者や選手、観客をサポートできるよう、都市ボランティア意識の向上を図りながら、市民の障害者に対する理解や国際理解を図る。					
(3) 事業内容	内容	・我孫子市を含む千葉県内の被災地を聖火リレーのルートとするよう要望活動の実施 ・オリンピック・パラリンピックに向けた関連情報の収集・発信と市民の参加意識の醸成 ・オリンピック・パラリンピックに向けた取組について、庁内関係課や関連団体との調整を図る			当該年度執行計画	・事前キャンプ誘致への取り組み (通年) ・2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた庁内関係課や関連団体との調整 (通年) ・聖火リレーへの対応 (ルートは2019年夏に組織委員会が発表する。ルートに選定された場合は、県等と連携して準備を進める)					
		当該年度活動結果指標	東京2020大会に関する庁内調整会議		単位	回	想定値	1			
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該年度	2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運が醸成されている。				間接	受け入れ態勢整備の進捗状況	%	40	40		
令和2年度	2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運が醸成されている。				間接	受け入れ態勢整備の進捗状況	%		100		
令和3年度					間接		%		0		
(7) 事業実施上の課題と対応	それぞれの取組については、市教育委員会 (文化・スポーツ課) と情報共有しながら、千葉県や千葉県スポーツコンシェルジュとの連携をより密にしていける必要がある。				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度			
		政策	内容	金額 (千円)	政策	内容	金額 (千円)	政策	内容	金額 (千円)	
		第16回世界女子ソフトボール ・関係団体や庁内関係課との調整 ・事前キャンプの受け入れ ■2020東京オリ・パラ ・関係団体や庁内関係課との調整 ・聖火リレー招致に向けた要望 2号嘱託職員 (2,607千円×0.27)	0	0	■2020東京オリ・パラ ・関係団体や庁内関係課との調整 ・聖火リレールート正式発表の内容に基づく対応 2号嘱託職員人件費 2,596千円×0.166	0	432	0	■2020東京オリ・パラ ・関係団体や庁内関係課との調整 ・事前キャンプの受け入れ ・聖火リレーの実施 2号嘱託職員人件費 2,596千円×0.166	0	432
		予算(決算)額	合計	700	合計	432	合計	432	合計	0	
		国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%		
県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0		
一般財源		700		432		432		0	0		
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.17	0.19	0.19	0.3	0	0	0	0		
正職員人件費		1,496	1,672	1,672	2,640	0	0	0	0		
嘱託職員報酬額		700	432	432	432	0	0	0	0		
臨時職員賃金額		0	0	0	0	0	0	0	0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		2,196	2,104	2,104	3,072	0	0	0	0		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		2,196千円/回	2,104千円/回	2,104							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	2020 (平成32) 年には東京オリンピック・パラリンピックが開催される。オリンピック聖火リレーを通じて、布佐地区の復興をアピールし、地域に元気をもたらすため、聖火リレーの招致に向けた取り組みが必要であるため。また、オリンピック・パラリンピックに向けて努力を続けているスポーツ選手と小中学生との交流機会を設けるため、事前キャンプ受け入れ等の取り組みが必要であるため。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった				○要 ●不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		<想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> ○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ■②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 聖火リレーのランナー選定や市の施設の確保が必要であることから、市以外で実施主体はない。		○要 ●不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要	
	○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		事前キャンプの実施や、聖火リレーが我孫子を通ることが決まった場合、市民から募集したスポーツボランティア等の参画を検討している。		聖火リレーのルートに決定したことから、多くの市民の方々が応援に参加されることが考えられる。		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>			
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>			
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率 (%)	○①目標値達成 ●②目標値未達成		○要 ●不要	
	40	40	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (%)	(f/b) × 100	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 要望を続けてきた結果、聖火リレーが決定されたことから、要望する必要がなくなったため、目標は未達成となった。			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	実施予定の対策		実施状況	対事業費 (%)	○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	2,104	92	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		2,104	100	<想定どおり削減できなかった原因>			
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ●③目標値以下		○要 ●不要	
	1.9	単位	費用単位	●①単年度の指標: 目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標: (目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値 (h)	対目標値 (%)	(h/e) × 100			

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ●廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	この事業は令和元年10月1日付けで秘書広報課へ所管替えをしたため、今後は秘書広報課の事業として取り組んでいく。				この事業は令和元年10月1日付けで秘書広報課へ所管替えをしたため、今後は秘書広報課の事業として取り組んでいく。					
	評価コメント				改善案及び展開方向					

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (2220), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with status indicators and improvement directions.

Final summary table with columns for evaluation comments and improvement directions.